

荒瀬ダム撤去に伴う地域課題への取組状況について (部会関係等)

備考

- ・ 資料中の写真番号（例：A-①）は参考資料【A】「荒瀬ダム上流の要望箇所に対する対応状況【消防水利】」の番号に対応
- ・ また、「これまでの取組み等」における下線（アンダーライン）の項目は第13回地域対策協議会（H28.10.26）後の取組み

1 消防水利部会関係

(1) これまでの取り組み等

- 地元要望を踏まえ葉木地区に階段を設置(平成 21 年度)【A-④】
- 工事に対応可能な箇所へ降り道等を整備(平成 22 年度～)【A-①、③-i、⑮】
- 軽量消防ポンプ 2 台を寄贈(坂本支所及び葉木地区の消防団：平成 24 年 3 月)
- 現状の常備消防の対応を確認(平成 25 年 1 月)
- 平成 25 年 1 月発生の中津道地区での火事を踏まえ、河川への降り道を早急に手直し(平成 25 年 3 月)【A-⑩】
- 八代市において、下鎌瀬地区に防火水槽を整備(平成 25 年 3 月)
- 八代市において、葉木地区、中津道地区に防火水槽を整備(平成 25 年 11 月)
- 工事用仮設道路(葉木橋下流の斜路)を消防水利に活用できるよう整備(平成 26 年 3 月)【A-③-ii】
- 道路嵩上げ工事箇所の既存階段等の擦り付け等を実施(平成 26 年 8 月)【A-⑥、⑦】
- 葉木橋下流の斜路のコンクリート等による舗装を実施(平成 27 年 3 月)【A-③-ii】
- 整備後の階段について、河川までの擦り付け等の手直しを実施(平成 27 年 3 月)【A-⑥、⑦】
- 整備後の階段へ転落防止のための手すりを設置(平成 27 年 3 月)【A-⑦】
- 道路嵩上げ工事箇所の既存階段等の擦り付け等を実施(平成 28 年 3 月)【A-8.5】
- 損傷した葉木橋下流の斜路の改修に係る設計を発注(平成 28 年 9 月)【A-③-ii】
- 葉木橋下流の斜路の改修と恒久的な残置に向けた協議を実施し、改修内容、設計及び施設引継ぎについて国、県、市 3 者間で合意(平成 29 年 10 月)

(2) 第 13 回地域対策協議会及びその後の部会での主な意見

- ・ 特段の意見なし

(3) 今後の取り組み予定

- 葉木橋下流の斜路の改修に着手(平成 29 年度内に完成)【A-③-ii】

〈葉木地区階段〉地元要望を踏まえ設置（平成 21 年度）

【A-④】



〈佐瀬野地区〉堆砂除去時の降り道を活用（平成 22 年度）

【A-①】



〈葉木地区〉階段下に緩斜路を設置（平成 22 年度）

【A-③-i】



〈破木地区〉降り道として活用できるように整地（平成 22 年度）

※八代市において平成 24 年にガードレールを取り外し、降りやすいように整備 【A-⑮】



〈導入した消防ポンプ〉（平成 24 年 3 月）



〈消防ポンプによる放水訓練の様子〉（平成 24 年 4 月）



〈中津道地区河川への降り道〉 H25 年 1 月発生の火事を踏まえ手直し（平成 25 年 3 月）【A-⑩】



〈下鎌瀬地区に整備した防火水槽〉（平成 25 年 3 月）



〈葉木地区に整備した防火水槽〉（平成 25 年 11 月）



〈中津道地区に整備した防火水槽（平成 25 年 11 月）



〈既存階段等の擦り付け箇所〉

【A-⑥】



〈既存階段等の擦り付け箇所〉

【A-⑦】



〈既存階段等の擦り付け箇所〉

【A-8.5】



〈葉木橋下流の土砂撤去用仮設道路〉

【A-③-ii】



2 施設部会関係

(1) これまでの取組み等

- 隧道（導水トンネル）等については、地元要望を踏まえ埋め戻しを実施（ダム撤去後のコンクリートを充填材として再利用）（平成26年2月～）
- 発電所等の施設については、資金や撤去時期の面から撤去する方向で検討
- ボートハウスについては、「球磨川と住民の暮らしを検証する場」とすることを基本に八代市で活用策を検討されたうえで、県・市で協議する方針を整理
- ボートハウスの水道復旧について、みお筋撤去後の水位低下及び地下水位の状況を踏まえ対応する方針を整理
- ボートハウスの水道復旧については、施設の既存井戸を活用する方針を決定
- 八代市においてボートハウスの既存井戸の水量及び水質等に係る調査を実施（平成27年12月）
- 隧道（導水トンネル）の埋戻しを完了（平成29年3月）
- 八代市においてボートハウスを再整備する方針を表明（平成29年6月）
- 藤本発電所等の関連施設の撤去に着手（平成29年9月）

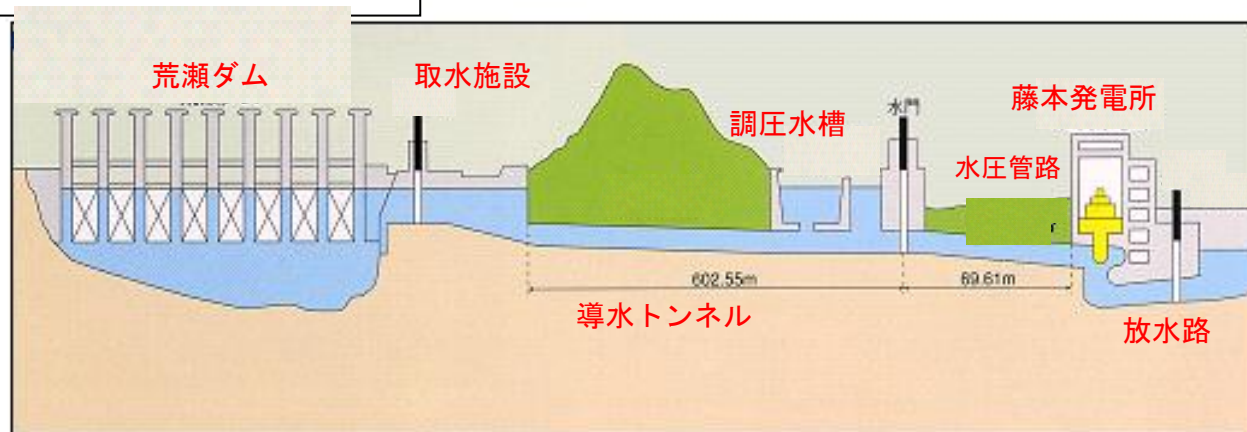
(2) 第13回地域対策協議会及びその後の部会での主な意見

- ・ 特段の意見なし

(3) 今後の取組み予定

- 藤本発電所の撤去を平成29年12月に完了
- ボートハウス及びボートハウスの斜路の整備については別添資料3を参照

荒瀬ダム関連施設概要図



〈導水トンネルの埋戻し完了〉（平成 29 年 3 月）



〈藤本発電所の撤去状況〉（平成 29 年 10 月）



〈サージタンクの撤去状況〉（平成 29 年 9 月）



〈取水口の撤去状況〉（平成 29 年 9 月）



3 地域交通関係

(1) これまでの取組み等

- 企業局で大門・藤本の地域内に5箇所の離合箇所を整備(平成24年8月)
- 道路嵩上げ関係
 - ①ダム～大門間
 - ・道路嵩上げ工事完了(平成26年11月)(16頁写真)
 - ②松崎～藤本間
 - ・道路嵩上げに必要な護岸補強工事完了(平成27年3月)
 - ・道路嵩上げ工事の工法再検討結果を住民へ説明(平成27年12月)
 - ・道路嵩上げ工事着工(平成28年7月)
 - ・道路嵩上げ工事完了(平成29年1月)(17頁写真)
- 道路改良関係(藤本～大門間)
 - ・用地取得完了(交渉不能等の箇所を除く)
(買収済:26筆、未買収:6筆(うち交渉不能等:6筆))
 - ・藤本工区において、L=120mの工事完了(平成26年8月)(18頁写真)
 - ・同工区において、L=200mの工事完了(平成27年8月)(19頁写真)
 - ・大門工区において、L=70mの工事完了(平成28年9月)(20頁写真)
- 球磨川架橋(代替橋)については、協議会で議論を継続
 - ・地域の方々が「生活用の道路であり、生活の一部として必要不可欠」として、架橋を希望されている状況は理解できるが、県として整備することはできない。県道の安全性・利便性を向上させるなど、地域交通全体で対応。
- 林道坂本山江線利用状況等について現地確認を実施(平成24年8月)し、沿線で伐採された木材が搬出されている現状を確認
- 葉木橋左岸に堆積した土砂の洗掘に係る対策工を完了(平成26年5月)

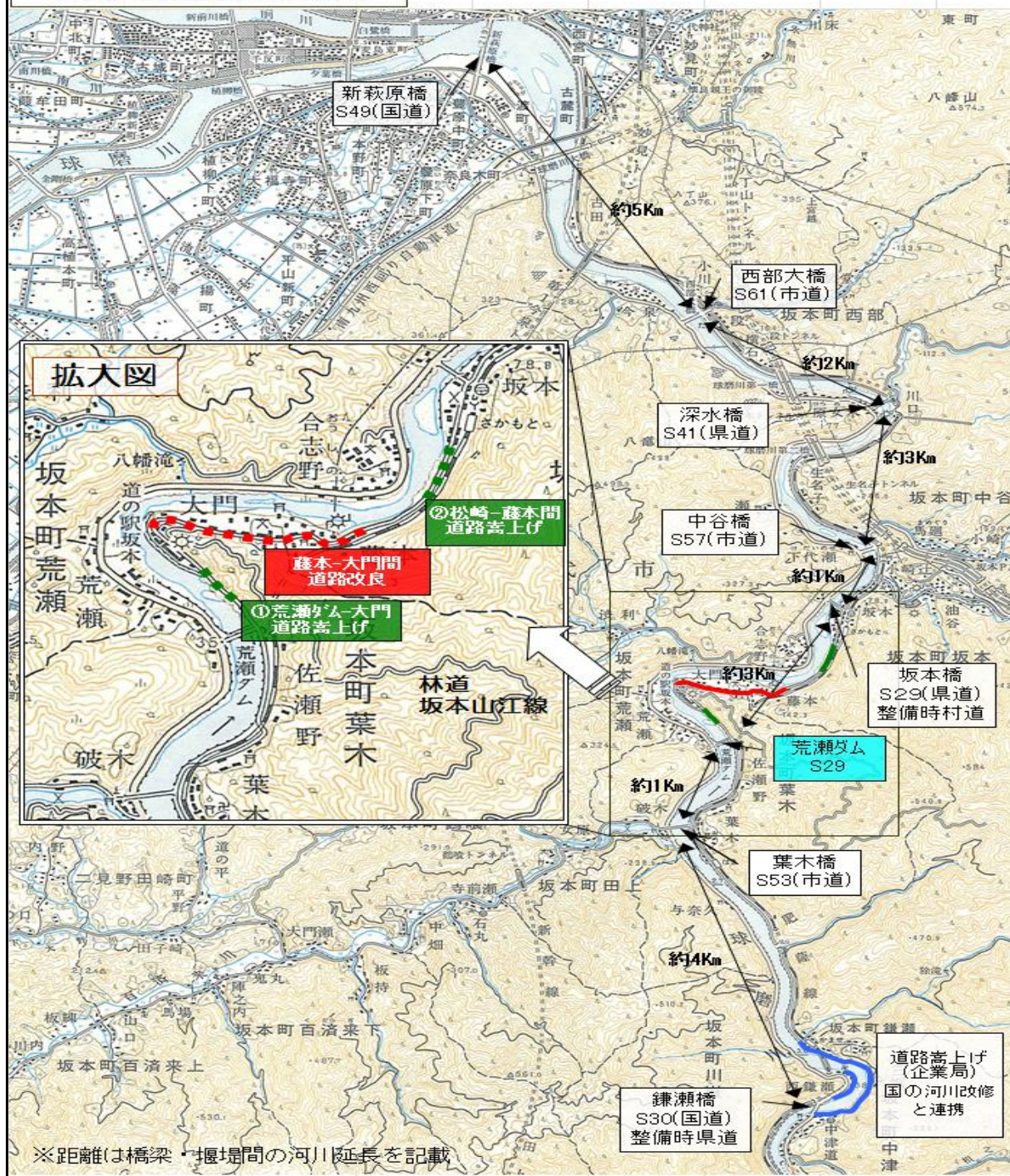
(2) 第13回地域対策協議会及びその後の部会での主な意見

- ・代替橋について協議会としての結論を早く出してほしい。

(3) 今後の取組み予定

- 道路改良関係(藤本～大門間)
 - ・大門工区において、L=450mの工事完了(平成30年2月)
 - ・藤本工区において、L=60mの工事完了(平成30年3月)
 - ・上記2区間の工事完了をもって平成29年度で事業完了
- 球磨川架橋(代替橋)
 - ・別添資料6を参照

地域交通関係箇所図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

道路嵩上げ工事完了〈ダム～大門間〉



道路嵩上げ工事完了<松崎～藤本間>



道路改良工事の進捗状況<藤本工区>



道路改良工事の進捗状況<藤本工区>



道路改良工事の進捗状況<大門工区>



4 その他の課題

●親水護岸的な河川への降り道

(1) これまでの取組み等

- 要望箇所について、地元委員との現地立会いを実施（平成 26 年 7 月）
- 八代市において、要望箇所についての「地域として求める姿」を踏まえた整理を実施（平成 27 年 7 月）
- 八代市による整理を踏まえ要望箇所毎の対応の可否を検討、対応予定箇所の整備内容及び時期を整理（平成 27 年 11 月）
- 整備予定箇所に係る河川管理者協議を継続実施
- 整備予定箇所の仕上げについて、地元区長との現地立会いを実施（平成 28 年 9 月）
- 全ての整備予定箇所の工事完了（平成 29 年 3 月）

(2) 第 13 回地域対策協議会及びその後の部会での意見

- ・ ボートハウスの斜路を是非整備してほしい。

(3) 今後の取組み予定

- ボートハウス及び斜路の整備については別添資料 3 を参照（※再掲）

〈葉木地区階段 上流側〉



〈葉木地区階段 下流側〉



〈与奈久地区 上流側〉



〈与奈久地区 下流側〉



〈下鎌瀬地区 下流側〉



〈下鎌瀬地区 上流側〉



〈中津道地区 下流側〉



〈中津道地区 上流側〉



〈瀬戸石地区 下流側〉



〈瀬戸石地区 上流側〉

